

1 中央部地域（中央地区・東部地区・第一地区・第二地区・第三地区）

(1) 地域の概況

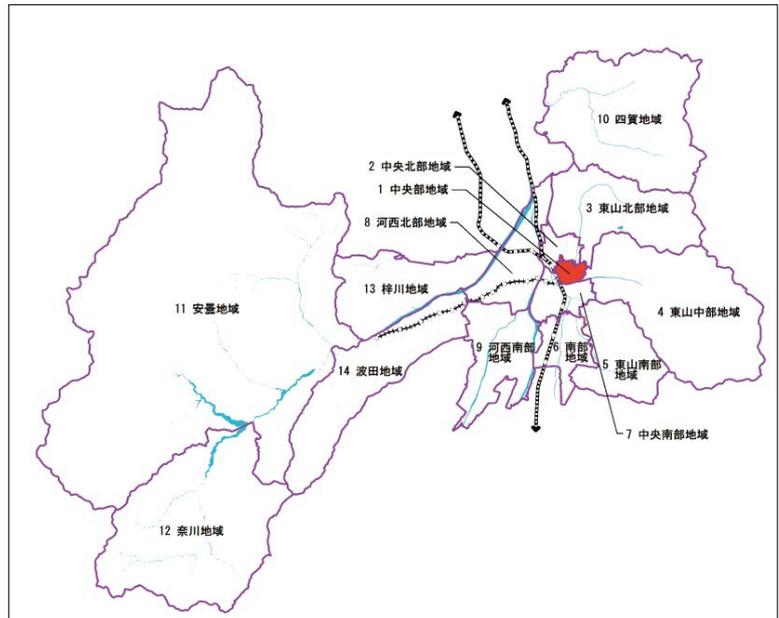
中央部地域は、城下町として栄えた松本市における古くからの中心市街地であり、松本駅お城口周辺の商業業務地は県内有数の規模であり、松本平における都市活動の中心を担っている地域です。

地域内には、国宝である松本城、旧開智学校、国の重要文化財である旧松本高等学校を始めとした歴史的建築物が多く残されているほか、薄川、女鳥羽川、長沢川などの河川や源智の井戸など市民に身近な水辺環境が随所に残されています。こうした歴史的資源を

活かしつつ、多世代が住まい、交流活性化による賑わい^{にぎ}を創出するための都市デザインを進めるとともに、歩行者の回遊や自転車利用を促すための取組みを進めてきました。これらの取組みを継続していきながら、まちの魅力創出や防災性の向上等に資するグリーンインフラの導入を積極的に図っていく必要があります。

本地域は、様々な商業施設等が立地する生活利便性が高い地域となっていますが、少子高齢化が進み、独居高齢者などの買物や外出を支えていく必要があります。また、空き家の利活用の更なる促進等が課題となっています。

●計画対象区域



国宝松本城



松本駅

（2）地域別構想

① 将来像

「歴史的遺産や豊かな水と緑を活かした松本広域都市圏の中心拠点」

- 松本広域都市圏の中心として、多様な都市機能が集約された商業業務地
- 来街者等が城・蔵・寺・水を巡り、松本の文化を楽しめる観光商業地
- 安全・快適な都市型住宅地

② まちづくりの方針

松本城～松本駅～あがたの森を中心とする中心市街地は、松本広域都市圏の中心拠点として多様な高次都市機能を集約し、利便性が高く、また文化を楽しめるまちを目指します。

松本城を始めとする歴史的建造物の保全、美術館や市民芸術館などを利用した芸術活動の活発化、個性的な商業の振興、歩行者優先に配慮した交通環境の改善などにより、松本の文化を歩いて楽しめるまちを目指します。

住環境では、空き地や空き家などの有効活用を図り、多様な世代や世帯のライフスタイルに対応した高密度な住環境を目指します。



あがたの森



歩いて楽しめるまち

③ 拠点形成と土地利用

本地域の拠点及び土地利用区分を次のように定めます。

拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ●都市中心拠点（中心市街地の都市機能誘導区域内） ●コミュニティ拠点（中央地区、東部地区、第一地区、第二地区、第三地区の地域づくりセンター周辺） ●医療拠点（相澤病院） ●歴史・文化・観光拠点（国宝松本城・国宝旧開智学校周辺、あがたの森） 		
土地利用	都市的開発整備ゾーン	商業業務系	中心商業業務地区（松本駅周辺）、 都市型複合業務地区（中心商業業務地区からあがたの森までの市街地）
		産業系	—
		住宅系	都市型住宅地区（松本城の北側の住宅地）、低層住宅地区（あがたの森の北側の住宅地）
	農業環境保全ゾーン	—	
自然環境保全ゾーン	公園緑地（松本城、あがたの森）		

④ 整備方針

【施設整備】

○歩行者優先の道路空間の形成

- 松本城、松本駅、あがたの森を結ぶエリアの道路は、歩行者優先の空間として再構築します。
- 中心市街地への通過交通の分散に必要な幹線道路等について優先的な整備を進めます。
- 買物等をしながら回遊を楽しめるようにするための滞留・休憩ができる環境を整備します。

○駅周辺の交通結節機能の充実

- 松本駅周辺におけるにぎわいを創出するために、交通事業者等との連携により、鉄道・バス・自転車等の交通手段のシームレス化や各施設の整備等を推進します。

○河川の水辺と一体となった環境整備

- 河川の水辺環境と一体となった散策路整備を進め、うるおいのある街並み景観を形成します。

○歴史的建築物の耐震化

- 松本城、旧開智学校校舎、旧制松本高等学校の建物耐震化を進め、周辺環境も含めた環境整備を進めます。

○防災・避難空間の充実等

- 災害発生時の市街地における防災・避難空間の充実等に向けて、都市計画道路の整備、狭あい道路の拡幅を推進します。
- 河川氾濫による甚大な浸水被害が想定される区域では、既存公共施設の安全の確保を進めるとともに、民間建築物の災害リスク低減に向けた対策を検討します。

【公共交通】

○鉄道の利便性の向上

- 都市中心拠点へのアクセス性の維持・向上に向け、交通事業者等との連携により、JR篠ノ井線、JR大糸線、アルピコ交通上高地線の利便性向上を図ります。

○幹線バス路線等の利便性の維持、充実

- 中心市街地と各地域の拠点間を支えるバス路線の利便性（路線・本数・時間）の維持・充実を図ります。
- 中心市街地の居住者及び来訪者の移動を担保するため、松本駅と中心市街地の各施設を接続する中心市街地バスの充実を図ります。

○自転車を利用しやすい交通環境の形成

- 交通結節点等の周辺においてシェアサイクルの普及を促進します。
- あがたの森に向かうあがたの森通り（駅前通り）、松本城に向かう本町通り、大名町通りでは、市民や観光客が安全・安心・快適に通行できるよう自転車通行空間の整備を推進します。

【環境保全形成】

○松本城三の丸エリアビジョンの実現に向けたまちづくり

- 二つの国宝を有する松本城三の丸及びその周辺について、歴史の積み重ねや特性を活かしたまちの将来像を示し、多くの市民と連携して各種事業を推進し、実現を目指します。

○城下町にふさわしい賑わいと風格のあるまちなみの形成

- まちづくり協定による住民主体の取組みを継続するとともに、建築物の新築・改修に対する景観誘導や修景支援を行います。
- 歴史的景観に配慮した道路改良や電柱の地中化により、城下町にふさわしい景観形成を図ります。
- 商業や金融の中心地として発展してきた歴史的経緯を踏まえ、建築物等の高さ・色彩や屋外広告物等に対する制限を適切に導入するなど、賑わいと風格のある景観の創出を図ります。

○既存ストックの活用による賑わいの創出

- 空き家・空き店舗等の有効活用による商業活性化とまちなか居住の推進を図ります。
- 来街者が心地よく回遊できるよう、オープンカフェでの活用など、道路を始めとする公共空間の効果的な使い方を推進します。

○水辺空間を活用したうおいのある景観の形成

- 湧水・水路を活かした水辺づくりと周辺の景観整備を進めます。
- 生物の生息・生育に適した水質の改善や水辺環境の整備を図ります。
- 女鳥羽川、薄川などの河川では、まちの賑わい創出につながる利活用を促しながら、「かわまちづくり事業」として川と一体となったまちづくりを進めます。

○グリーンインフラの導入

- 学校、官公庁、文化施設などの公共公益施設の敷地、公園や道路などの公共空間では、維持管理に関する労力や費用等も勘案しながら、効果的な緑化を推進します。
- 小さな空間を活用した緑の配置や屋上・壁面を利用した緑化を推進します。

○あがたの森公園と調和する住宅地景観の形成

- 重文旧制松本高等学校校舎と一体となった緑地整備の促進と周辺建築物や広告物等のデザインの規制・誘導を図ります。
- あがたの森通りにおける緑化や歩道のデザイン化、ブロック塀の生垣化等を推進することにより、あがたの森と調和する緑の街並み景観を形成します。

●中央部地域 整備方針図



凡例

土地利用区分

- 中心商業業務地区
- 都市型複合業務地区
- 複合業務地区
- 地域商業地区
- 学術・医療地区
- 健康・スポーツ地区
- 工業地区
- 流通業務地区
- 複合産業地区
- 都市型住宅地区
- 低層住宅地区
- 田園集落地区
- 山間集落地区
- 森林・丘陵緑地
- 公園緑地
- 河川
- 交通施設用地

道路種別

- 高速道路
- 高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路

公共交通

- 鉄道 (JR)
- 鉄道 (その他)
- バス (主要幹線、幹線)